

ゼミ方式の授業（演習）についての諸注意

岡 知史

1. 携帯電話、スマホ、ノート PC は（休憩時間も含めて）使用できません。
辞書機能、時計機能としても使用は許可しません。どうしても使用しなければいけないときは、教室外で使用してください。また授業の進行上、スマホで何かを調べなければいけないときは、教員に相談してください。
2. 授業中、ガムを噛んだり、アメをなめたり、お菓子を食べたりしない。食事をとることも許可しません。
どうしてもお菓子が食べたい場合は、教員に伝えて全員でそれを分け合うことができるか聞いてみてください。のど飴の場合は、教員に伝えて下さい。脱水症状を防止するため、飲み物は可とします。
3. 机の上にカバンを載せない。
会議では机の上にカバンは置きません。ビジネスの世界では、明らかにマナー違反です。ノートを取ることもできず、話し合いや議論への意欲が感じられません。
4. 膝の上にカバンを載せない。
会議で膝のうえに鞆をおく人はいないでしょう。鞆を床の上に置きたくない場合は、空いている席の上に置くなど工夫しましょう。
5. 帽子をかぶらない。
就職の面接の時に帽子をかぶらないでしょう。室内では帽子をとりましょう。闘病中など何か特別な事情がある場合は、個人的にメールしてください。
6. 誰かが発表しているときは、その人の方を向き、積極的に質問等をする。
受け身の態度で演習は参加できません。授業中に他の授業のレポートなどを書いている場合は、その後の履修を許可しません。
7. チームで動く場合には互いに協力し、配慮しあうこと。
「準備をせずに、発表の当日だけ、あたかも自分が調べたかのように他の人が用意してきたことを発表する」といった行為は、チームのメンバー間に深い不信を生み出します。チームで動いているときこそ互いの貢献を尊重すべきです。チームで動くことをゼミ方式の授業で学んでいただきたいと思います。

ゼミ方式（演習）の授業（当事者福祉論を含む）では、以上のルールを守っていただきます。ルールを守っていただけない場合は、履修中止を勧告します。履修中止申請期間を過ぎてしまった場合にはF（不合格）を出すことがあります。